



Newsletter

No. 63

2015年6月20日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

「戦争法案」を絶対阻止しよう！

2015年夏 いよいよここが正念場

2014年7月1日の集団的自衛権行使容認の閣議決定から、まもなく1年。安倍政権は「戦争法案」を上程し、「戦争できる国」の総仕上げの攻撃をかけてきた。これが通れば、自衛隊の海外武力行使が可能となり、九条は崩壊することになる。いっばう働く者には「派遣法改悪」「残業代ゼロ法」を強行し、「ニッポン労働者の総奴隷化」が画されている。もう我慢も限界だ。いま立ち上がらなくていつ立ち上がるのか。将来に悔いを残さないために、一人ひとりができることを精一杯やるときである。われわれこそが主権者である。憲法違反の安倍を退陣させる責任がある。会員みなさん、レイバーネットのネットワークの力を最大限に活かして、ともに立ち上がろう。



レイバー映画祭 2015

さあ7月25日は田町で会いましょう！

学生無料

消費税8%に慣らされてしまった。物価が高い。暮らしはひどくなるばかり。東京タワーやスカイツリーがドーンと突っ立って、食べものはターンとあるけど、300円以下で食べられるランチを探す日々。「ブラック企業」に「ブラックバイト」の身じゃ、からだも財布も耐えられやしない。

そして、あの大战から70年。平和願って、戦争はもうしないと固く誓った想いは今いずこ。「安倍談話」が用意され、集団的自衛権の限定行使が検討されている。憲法が殺される!? 私たちの生活はどうなってしまおうのか。まるでデジャブー！ いつか来た道？ 未来はあるの？

そんな2015年夏、今年もレイバー映画祭を開催します！ 映画を観て、悩みながら考えよう。初の試み、学生無料!! 若者こそが未来。是非来てね。

7.25
10:15~17:15 (開場9:45)
田町交通ビル6Fホール

一般当日/1500円
前売/予約/1300円
失業者・障害者/1000円
学生/無料

主催: 株式会社 レイバーネット日本
TEL: 03-3530-8588 FAX: 03-3530-8578
E-MAIL: labor-staff@labornetjp.org

消費税8%に慣らされてしまった。物価が高い。暮らしはひどくなるばかり。東京タワーやスカイツリーがドーンと突っ立って、食べものはターンとあるけど、300円以下で食べられるランチを探す日々。「ブラック企業」に「ブラックバイト」の身じゃ、からだも財布も耐えられやしない。

そして、あの大战から70年。平和願って、戦争はもうしないと固く誓った想いは今いずこ。「安倍談話」が用意され、集団的自衛権の限定行使が検討されている。憲法が殺される!? 私たちの生活はどうなってしまおうのか。まるでデジャブー！ いつか来た道？ 未来はあるの？

そんな2015年夏、今年もレイバー映画祭を開催します！ 映画を観て、悩みながら考えよう。初の試み、学生無料!! 若者こそが未来。是非来てね。

そんな2015年夏、今年もレイバー映画祭を開催します！ 映画を観て、悩みながら考えよう。初の試み、学生無料!! 若者こそが未来。是非来てね。

とき 7月25日(土)
10.15~17.15 (開場 9:45)
ところ 田町交通ビル6F ホール
参加費 一般当日 1500円
前売・予約 1300円
失業者・障害者 一律 1000円
学生 無料

↓メール予約
<http://vpress.la.coocan.jp/yoyaku-labor15.html>
〔プログラム〕

9.45 開場
＜一部・生きる権利＞
10.15~12.15
『もうひとつの約束』(115分)
12.15~13.00 休憩 45分
＜二部・戦争する国ノー＞
13.00~15.15
『天皇の名のもとにー南京大虐殺の真実』(50分)
『誰も知らない基地のこと』(74分)
15.15~15.25 休憩 10分
＜三部・声を上げる人たち＞
15.25~17.10
『ワーカーズ・リパブリック』(60分)
『メトロレディーブルース・3』(30分)
17.00~17.15 フィナーレ
メトロレディーと仲間たち
終了後、公園にて二次会

〔レイバー映画祭 2015 作品解説〕

『もうひとつの約束』

監督:キム・テユン監督 2014年/韓国/115分

映画は、サムソン電子半導体工場で白血病を患い2007年に22歳で他界したファン・ユミさんの父親、ファン・サンギさんの裁判闘争を元に、キム・テユン監督が取材し脚本化した作品。韓国の大企業・サムソンの恥部を告発する映画ということで、劇場が相次いで上映を見送る中、自主上映運動が巻き起こった。「絶対にあきらめない。父親だから」。サムソンの妨害工作にも負けない遺族たち。巨大企業に素手で闘いを挑む姿が感動的だ。

『天皇の名のもとに—南京大虐殺の真実』

監督:クリスティン・チョイ&ナンシー・トン 1995年/米国/50分

1937年の南京事件とは何であったのか? 当時、南京に滞在していた米国人ジョン・マギー牧師は、密かに16ミリフィルムを回し記録していた。深傷を負って南京病院に運び込まれた人々、黒焦げの死体、強姦された女性、目を覆うシーンが続く。アジア系米国人の監督は、日本でも元日本軍兵士や関係者を取材し、南京事件を様々な角度から検証している。劇映画『ジョン・ラーベ』と同じく日本で公開できなかった作品だ。歴史が問われるいまこそ、必見の映画である。

『誰も知らない基地のこと』

2010年・イタリア作品・74分

米国は、冷戦後も世界の至る所で基地をふやしつづけている。約40カ国に700カ所以上の米軍基地が存在する。沖縄では、普天間基地移設を口実に辺野古に新基地をつくらうとしている。それはなぜか。イタリアのエンリコ・バレンティ&トーマス・ファツィ監督の『誰も知らない基地のこと』は、沖縄をはじめ世界の米軍基地を回り、たたかう人々を取材し、グローバルな視点から問題提起をしている。注目すべき点はこの映画が、基地をつくり抑圧する側の論理を追究していることだ。米国はいまや軍産複合体として世界中に敵をつくり、基地をふやしていく戦争経済で成り立っている。それによって「ローマ帝国」のように世界を支配しようとする。オバマはその召使いでしかない。これを中断すれば、米国経済そのものが破綻してしまう。映画はそこを突く。安倍政権は、米国に従属して「戦争する国」に邁進しているが、米軍基地の正体を暴いたこのドキュメンタリーは、日本の「いま」を考える格好の教材となっている。(木下昌明)

『ワーカーズ・リパブリック』

監督:アンドリュー・フレンド 2010年/米国/60分

シカゴにある建具製造会社リパブリック・ウィンドウズ・アンド・ドアーズの工場労働者たちが、3日後の工場閉鎖を突然通告され、怒りを爆発させて工場を占拠したのは2008年12月のことだった。オバマ大統領も工場労働者の権利支持を公にするなど、異例の展開を見せた争議は、大手マスコミも無視できないほど注目を集めた。マイケル・ムーアの映画『キャピタリズム』にも登場した争議で、米国労働者の果敢なたたかいを伝える。



『メトロレディーブルース 3』

制作:ビデオプレス 2015年/日本/30分

「同じ仕事なら同じ待遇を」「退職金ゼロで65歳雇い止めはおかしい」。東京メトロ売店で働く契約社員の女性たちは、東京東部労組メトロコマース支部をつくり、「差別撤廃」に向けてたたかい続けている。2014年には裁判も起こし、今や「非正規労働者のシンボル」だ。今年春には、レディーたちは怒りのメラメラハットをかぶり、組合員の雇い止め阻止に向けて三たび立ち上がった。「レイバー映画祭」で大好評の現在進行形作品『メトロレディーブルース』の第三弾。

＜映画『もうひとつの約束』を観て＞

あきらめずにたたかう姿に感動

尾澤 邦子

明るく笑う家族写真。でも映画『もうひとつの約束』が投げつける衝撃は深く、悲しい。韓国の大企業サムソン電子の半導体工場での労災。急性骨髄性白血病で苦しんで死んでいったファンユミさんの実話をもとにした映画だ。裁判提訴にふみきる父を執拗に妨害する会社。家族に対するいやがらせはひどく、心をずたずたにし、家族をばらばらにする。それでも「絶対にあきらめない」とふんばる父。

「企業が最も活動しやすい国」は労働者の権利や人権がはく奪され、ふみにじられる国。日本も韓国も、大企業優先の社会に対しては、あきらめずに闘い続けるしかない。昨年11月、日本での上映会に来日したファンユミさんの父、ファンサンギさんは「韓国のメディアはサムソンのことを正しく伝えない。映画を作ることでサムソンの間違いが一般に知られて、安全な職場が作られるようになったらと思った」と語った。多くの人に見てほしい。

★ レイバー映画祭 2015 にカンパを!

ことしの映画祭は学生は無料としました。奨学金などで苦しんでいる学生の負担を考えた措置です。映画のレンタル代もかきみます。ぎりぎりの財政で映画祭を準備しています。カンパで応援できる方はぜひ宜しくお願いします。

(同封の振替用紙をご利用ください)

パワフルな番組を放送したレイバーネット TV



レイバーネット TV2015 年前期は、2月11日からスタートしこれまで「第80号 盗聴法拡大・密告司法はゴメンだ！（足立昌勝・米倉洋子・山口正紀）」「第81号 ピケティ入門～なぜ格差は広がるのか(竹信三恵子)」「第82号 トモダチ作戦・米水兵大量被ばくの実態（呉東正彦）」「第83号 まるでアリ地獄？ 奨学金問題を考える（大内裕和・白石孝）」「第84号 海洋汚染・メルトアウトのフクイチはどうなっているのか？（山崎久隆・洲上太郎）」「第85号 アベが恐れる芸人「松元ヒロ」参上！」「第86号 元陸自レンジャー隊員 VS 戦争法案（井筒高雄）」「第87号 戦争はイヤだ！若者オブジェクション（4人の若者）」「第88号 私はねつ造記者ではない！～植村隆・元朝日記者、大いに語る」と9回連続放送してきました。それぞれに充実した内容となりましたが、とくにネットTV初出演の松元ヒロの「爆笑パワー」や菱山南帆子さんら若者の「ヤングパワー」は観る人に勇気と希望を与えるものでした。そして前期最終回の6月24日（水）は、国会大包围行動の現場から生中継で放送する予定です。

2015 年後期に「オープンチャンネル」の試み

ことし後期の放送は、9～12月の第2第4水曜日の予定です。たしかにこれまでいい番組をつくってきましたが、レイバーネットTVも開局5年で、放送回数も89回になりました。スタッフメンバーもほとんど変わらず、マンネリ化がないとはいえません。先日レイバーネットTVプロジェクト会議を開き、より広く人材・企画を募集して、いままでつくった放送基盤の一層の「拡充」をめざすことにしました。その試みが「オープンチャンネル」です。

月2回放送のうち、1回をオープンチャンネルとして、会員や協力者の方に「開放」し、企画の持ち込みをしたらおうというものです。「テレビは見るものではなくつくるもの」。技術面はTVスタッフが支えますので、あなたもつくる側になってみませんか。7～8月に具体的に呼びかけますので、ぜひご応募ください。また簡単なPC操作など技術スタッフも募集しますので、こちらも宜しくお願ひします。（レイバーネットTVプロジェクト）

歴史見直しを許さない！

『ジョン・ラーベ』上映運動広がる

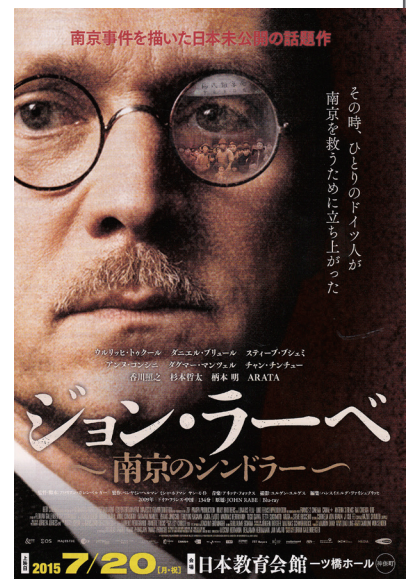
今回の『ジョン・ラーベ～南京のシンドラー』上映運動の特徴は、労働組合と市民団体が一緒になって取り組んでいることだ。ホームページ、フェイスブック、ツイッターを開設した。レイバーネットTVでも取り上げた。のりこえネットTVも取り上げることにしている。映画そのものが知られていないのだから、知らせることが大切だ。労働組合に対する協力要請もすすんでいる。平和フォーラムの全面的な協力を受け、全労連や全労協をはじめ多くの労働団体の賛同・協力をもらっている。まさに「総がかり」であるが、各労組・団体の現場組合員に情報が届くまでは時間がかかるものだ。チラシは5月中に1万枚を配布してしまったので、新たに増刷した。ここからが現場段階での宣伝戦である。

もう一つの特徴は、学生、18歳以下を無料にしたことだ。それは、若い人に南京事件をはじめ日本の戦争と加害の事実について知ってもらいたいからだ。映画の解説を準備中である。ブックレットをつくる話もすすんでいる。団塊の世代にとって戦争体験は日常的に聞ける話だった。そのためか、

労働組合は、今まで十分な歴史学習をしてこなかった。今回、戦争を知らない若い人に鑑賞してもらうことによって、労働運動としても新しい教育宣伝活動を模索する必要がある。

上映運動は、新しい運動への挑戦である。これから本番、上映運動の成功に向けて頑張らしましょう。

（伊藤彰信）



7月20日（休）午後1時半開演
日本教育会館大ホール
*詳細HP（「ジョン・ラーベ大上映会」で検索）

新会員紹介

レイバーネット TV に元気もらった

松戸しほみ

東日本大震災以降に、福島若いのママ達が文科省に直接抗議に押し掛けた時、同席させて頂いた事がありました。代表の方達が役人に次々に訴える中、一人のお母さんが、はずれた所で耐えられずに忍び泣きしているのを目にしました。我が子が放射能など無い所で健やかに育て欲しいという全うな願いが、叶えられないこの国は何と情けない国なのだろう。この原因が人間の持つ強欲と権力、自分さえよければいい、という心から産み出されたと思うと腹立たしいしおぞましい事です。そんなものよりもっと大切な愛、命、日々の営みがあるのに。レイバーネットTVは、その事にたたかう人達が一杯でてくるので面白い。元気貰えます。何より洗練されすぎないのが魅力です。期待しています。

go go レイバーネット

＜お勧め映画紹介＞

心が震えた『戦場ぬ止み(いくさばぬとどうみ)』



ドキュメンタリー映画『戦場ぬ止み』(三上智恵監督)が、都内で先行上映され話題をよんでいる。前作『標的の村』も良かったが、それにも増して心が震えた。戦争法案に抗う市民の運動と無縁ではないだろう。そしてあらためて思う。本土に暮らす私たちは「70年続いた平和を守らなければならない」と叫ぶが、沖縄はずっと戦場だったのだ。

映画の冒頭、辺野古の海に生きる美しいサンゴの大群がスクリーンいっぱいにあられる。それを何十トンというコンクリートブロックが押しつぶしていくラスト。日本の安全と平和のために沖縄はかくも無慈悲に痛めつけられてきた。それでも辺野古の人々はあきらめない。沖縄戦を生き延びたおばあは「私をひき殺してからにして」と工事車両の前に体を投げ出す。男たちは「戦争で苦しんだ先輩たちより、沖縄を苦しめる奴らの言うことを聞くのか」と若い県警に迫る。

カネで顔をはたかれ分断させられ、物言えぬ時代があった。でも、敵味方なく暮らす日のために立場の違う相手とわかりあおうとする試みは、世代を超えて引き継がれていく。目の前に立ちはだかる県警や海上保安庁の表情をカメラはとらえ、彼らもまた迷い考える人間であることを私たちは知ることができるのだ。

この六月「新基地をつくらせない。これは沖縄の民意だ」と翁長知事は日米安保体制に異議を唱え、海外メディアやアメリカの議員をうならせた。長い苦しみの果てにこの人を知事に選んだのが、沖縄の力なのだと思う。三上監督はいう。「国民の皆さんが、島をあげて戦場を終わらせたいと訴えている沖縄の現状をちゃんと知ってくれさえすれば、政治は動く」。そう信じて作られたのがこの映画だ。(堀切さとみ)

＜ウェブの人気記事紹介＞

5.3 憲法集会に記事に 19000 件の「いいね」

このところレイバーネットウェブサイトへのアクセスが増えている。一日 7000 ～ 10000 件の訪問者数がある。戦争法案反対運動の報道などが注目を引いていると思われるが、5.3 憲法集会の記事には、FB の「いいね」が 19000 に達する「過去最高記録」となった。ほかにこの 2 ヶ月で、1000 を超えたのは以下の記事だった。★「許すな！戦争法案 5.12 集会」に 2800 人～暉峻淑子さん「戦前と似てきた」(1299) ★ロサンゼルスで日系人らが安倍首相に対し「反戦・反原発」アクション！(5582) ★画期的判決！勝ったぞ！～東京高裁が根津さん「停職処分」取り消し(2427) ★圧巻だった元自衛官の発言～「戦争させない」オール埼玉総行動に 1 万人(4847) ★原発いらんばい！～「ストップ再稼働！大集会 in 福岡」に 1 万 5 千人(1832) ★「潮目が変わった。安倍を追いつめよう」～いよいよ 6.14 国会包囲へ(2677)。あなたもレイバーネットに記事(写真・動画)を寄せてください。

学生が「憲法守れ！」と集団で立ち上がった

6 月 12 日学生たちが立ち上がった。この記事へのアクセスが急増中だ。



レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 555 名

ウェブアクセス 1 日 5000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000 円

(B会員 = 5,000 円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578